

## 安心して続けるため

以前から、イチジクにも保険があればいいなと思っていました。イチジクは天候に大きく左右され、一晩の雨でだめになってしまう。雨に当たるとすぐに中が腐るので、これまでも雨にぬれて大量に実を落としたことがあります。

今年は夏の暑さで、水をあげても水が温かくなったり、果実が日焼け果になったりしました。例年、盆から11月末まで収穫するところ、今年は9月末で終了。成品として出荷できるものが今年の3分の1くらいでした。

65歳までは、兼業で米を作っていました。退職を機に16年前からイチジクの栽培を始め、3年かけて130本を定植しました。一家でやるには本数は多いですが、息子夫婦も手伝ってくれています。

将来は、息子が継ぐと言ってくれていて、ありがたいです。農業を継続させるためには、収入保険という制度を利用して、安心してやってもらいたい。土地は先祖から受け継ぐ財産なので、保険に入り持ちこたえられる状態で、譲ってやりたいと思っています。

▷イチジク「蓬菜柿」<sup>ほうらいし</sup>30本



(農業共済新聞 中国版 2018年10月2週号より)

福山市東村町 小川 和良さん (80歳)